北のふれ愛　　三笠鉄道村

　以前２０１４年6月号で「夕張シューパロダム」を紹介させていただきました。今回はそのシューパロ湖畔沿いに走る国道４５２号線を北上、「三笠鉄道村」に車を向けます。右手に夕張岳、シューパロ湖を眺めながら山道へと入って行きます。道幅は広く交通量も少ないので快適なドライブとなります。が鹿の飛び出しとスピードの出し過ぎにはくれぐれもご注意ください。

　桂沢湖を抜けるとハンドルを左手に切り目指す目的地へ、鉄道村に近づくと遠くから懐かしいSLの汽笛が聞こえてきます。それにつられ車の窓を開けると石炭の煙の匂いがします。炭礦街に育った私にとって何とも言えない思いです。幌内〜小樽手宮間を結ぶ幌内鉄道は、明治１５年（１８８２年）に新橋〜横浜、大阪〜神戸に次いで日本で３番目に開通しました。鉄道村は、そんな幌内鉄道を始め、北海道の鉄道にまつわる文献や資料、鉄道標識や時刻表、何処かで見たことのある懐かしい車両が展示されています。また僅かな距離ですが実際にSLが運行されており乗車体験ができます。

　昔の子供にとっては懐かしくも嬉しい空間に出会えます。かつて二本のレールで結ばれて幌内—手宮間、偶然でしょうか、三笠幌内も小樽手宮もレールの一部が残されています。もう走ることない鉄路ですが、いつか再び蒸気機関車の力つよい走りを見せてくれるのではと夢を抱かせてくれます。夢を見に訪れてはどうでしょうか。（木村　悟）

アクセス

〒０６８−２１４５

三笠市幌内町２丁目２８７

電話０１２６７−３−１１２３